

【質問項目】

1. ヤマト運輸・ANA との連携協定について

【質問本文】

1. ヤマト運輸・ANA との連携協定について

■質問（しもづる）

せっかくヤマトさんやANA総研さんとの連携協定について御紹介いただきましたので、一点お伺いしたいと思います。

お伺いしたいことは、この連携協定の効果というのはどういうことが見込まれるのかということであり、ます。といいますのが、五ページの資料を拝見いたしますと、右の輸出拡大の小口の輸出の取組を紹介していただいているわけで、これはこれでいいんですが、一方で、那覇の二十四時間ハブを使ってヤマトの宅配便で行くというのは、もともとあるサービスだと思うのです。ですので、今回、連携協定によって、特に販路拡大に関してどのような効果が見込めるのか、そこを示していただければと思います。

□答弁（かごしまブランド対策監）

連携協定によりまして、本資料の五ページにあります、このルートは既存のこれまでもあるルートでございます。このルートを使えばいろいろな取組ができますが、やはりこういったルートがありますということ、あわせて、これ以外でも鹿児島島のいろいろな港であるとかを使った、ヤマトとANAという枠組みの中でいろんなルートができないかということも検討いたしております。

特に、先ほど答弁いたしましたとおり、小口ということをやっておりますので、なかなかこれまでロットが集まらなくて、輸出というものがなかなか難しかったという方々に対しては、やはりこういう協定のルートを使って輸出ができる一つのチャンスになるのではないかと考えておりますし、また、これを使いますと、輸出にはいろいろな手続が必要ですが、そういったところもヤマトグループが支援をしてくれるということもありますので、輸出に取り組みやすい体制というのができるのではないかと考えております。

■質問（しもづる）

ということは、今、民間各社が提供されている便利なサービスについて、輸出を考えている事業者に情報提供をしていくといった捉え方でいいですか。

□答弁（かごしまブランド対策監）

情報提供もありますし、今現在、エア便を使った取組ですけれども、それ以外でも鹿児島からヤマト

とANAグループのいろいろな物流の中で、輸出促進ができないかも検討しておりますので、そういうのがまた新たにできましたら、利用促進を図ってまいりたいと考えております。

■質問（しもづる）

ありがとうございます。

今、提供されているサービスをもっと活用してもらおうというのも大事ですけども、もう一方で、やはり民間事業者はノウハウを持っていますので、こうしたらもっといいのではないかという知見をお持ちだと思いますので、そことせっきやく大事な連携協定ですので、そのつながりを生かしてよりよい、鹿児島島の輸出する事業者がこうやったらもっと輸出しやすくなのではないかを、民間の知見を生かして取り組んでいただければと思います。以上です。

□答弁（農政課長）

御指摘のとおりでして、おっしゃるとおり、ヤマト等は香港や台湾、シンガポール、マレーシアにも事務所を持っておりますので、そういったところの情報等を活用しながら、また民間の知見を生かしながら、さまざまな取組を進めていければと思っております。委員の御意見も踏まえながら対応していきたいと思っております。ありがとうございます。（「関連」という者あり）